

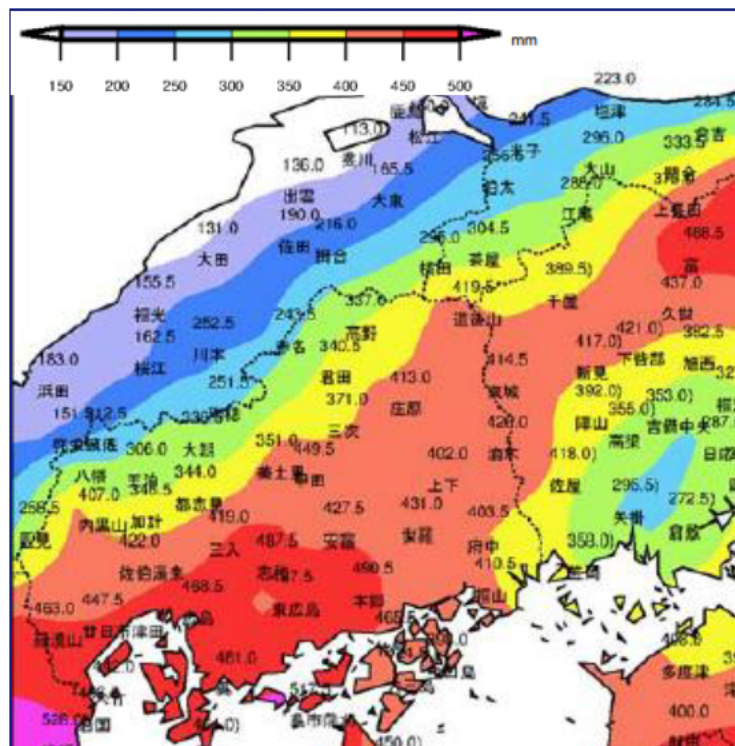
平成30年7月豪雨災害への対応について

中国電力株式会社

1. 災害概要（平成30年7月豪雨）

- 7月に入り梅雨前線が西日本上空に停滞したことにより雨が降り続き、さらに線状降水帯が発生したことで、中国地方は7月6日昼過ぎから記録的な大雨となりました。
- この大雨の影響で岡山県、広島県を中心に人的被害に加え、家屋損壊等の甚大な被害が発生しました。

アメダス期間降水量（7月3日0時～8日12時）



期間降水量（7月3日0時～8日12時）

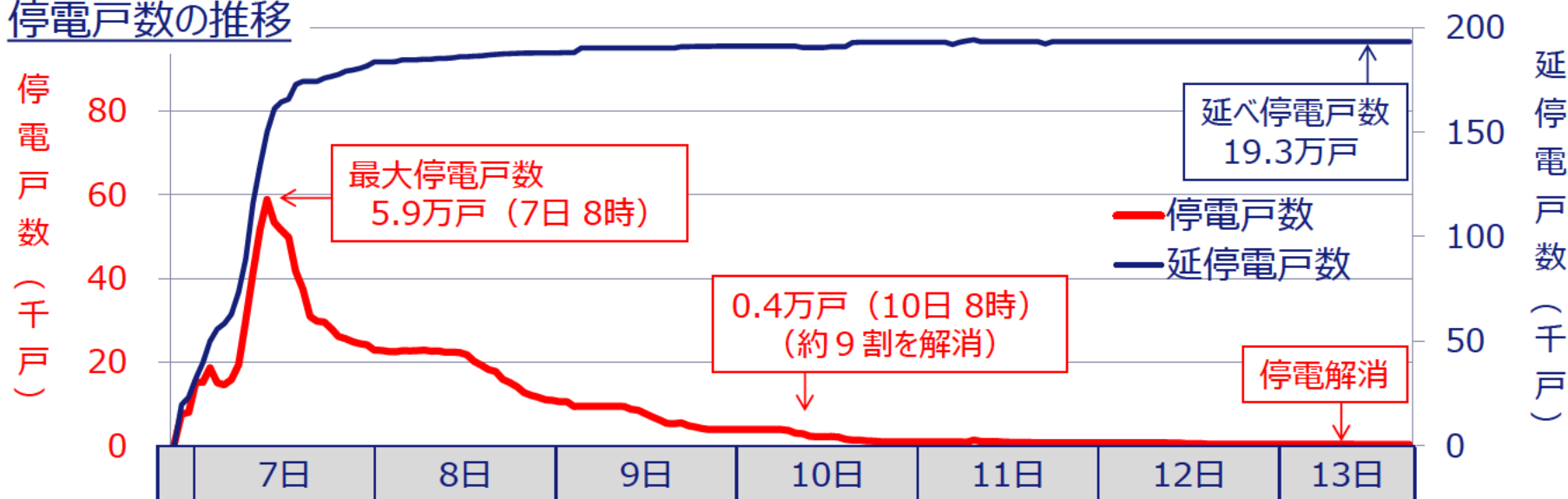
都道府県	市町村名	降水量（ミリ）
岡山県	とまた 苫田郡鏡野町	497.0
	新見市	446.5
	津山市	440.0
	井原市	425.0
	高梁市	400.0
広島県	呉市	517.5
	三原市	490.5
	東広島市	487.5
	広島市中区	468.5

（引用）気象庁ホームページ

2. 停電状況および主な設備被害

- 最大停電戸数は7月7日8時時点で5.9万戸となり、延べ停電戸数は19.3万戸となりましたが、他電力を含む復旧要員を最大2.4千人動員し、72時間後には約9割の停電を解消しました。13日には、土砂崩れ等で倒壊・流出した家屋等を除き停電を解消しました。
- 主な設備被害は、電柱被害：848本、配電用変圧器浸水：5台ほか

停電戸数の推移



設備被害状況		
電 柱	倒壊・折損等	848本
高 圧 線	断・混線等	237径間
鉄 塔	敷地土砂流出	34基
配電用変圧器	浸水	5台

延べ動員数 (千人)	
当社社員	9.8
関係会社	5.6
他電力	1.7
合計	17.1

3. 今回の災害による復旧への影響（概要）

- 河川の氾濫や堤防の決壊により、広島県三原市本郷地区や岡山県倉敷市真備地区で広範囲に浸水しました。（復旧作業は退水後に実施）
- 広島県南部を中心に土砂崩れ等が5千箇所以上で発生したため、立入り困難な箇所が多数あり、被害状況の把握および復旧に時間を要しました。
- 交通網が広範囲に麻痺したことにより被害箇所への移動等、初動対応に大きな影響を受けました。
- なお、記録的な猛暑と重なり過酷な作業環境となりました。

【参考】

（広範囲な浸水箇所）



岡山県倉敷市真備地区

（大規模な土砂崩れ）



広島県呉市蒲刈地区

4 - 1. 主な設備被害と復旧対応（浸水被害）

- 7月7日未明に、広島県三原市の^{ぬた}沼田川の氾濫に伴う浸水により、^{ぬたにし}沼田西変電所からの全ての送電が停止しました。
- 変電所の仮復旧を図りつつ、電源車による応急送電を実施しました。



設備概要	
出力	80MVA
配電用変圧器	3台
供給戸数	約11千戸



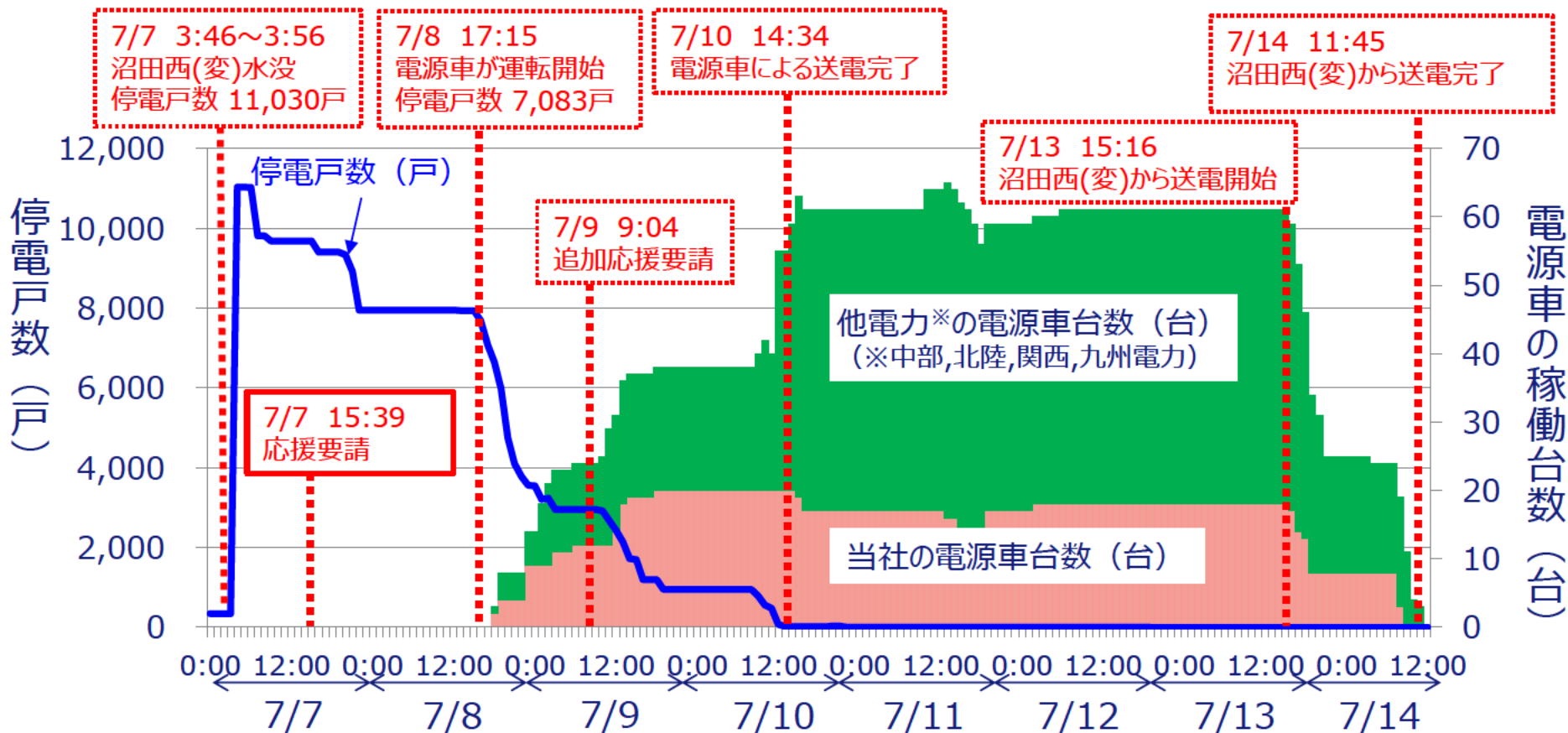
広島県三原市

浸水深：変電所GLから+2.7 m程度

4-2. 主な設備被害と復旧対応（浸水被害）

- 電源車による応急送電については、他電力に63台の応援派遣を要請するとともに電源車の発電計画の策定、設置場所の選定および燃料補給体制の構築を進め、退水状況を見極めつつ対応した結果、7月10日に送電を完了しました。
- 7月13日、沼田西変電所を仮復旧し、変電所からの送電を開始しました。

停電戸数と電源車の稼働台数の推移（沼田西変電所）



(参考) 電源車による応急送電状況



他電力の応援作業 (1)

電源車台数

他電力	中部	19台
	北陸	6台
	関西	8台
	九州	30台
	小計	63台
当社		23台
合計		86台



他電力の応援作業 (2)



運転監視の様子

5. 主な設備被害と復旧対応（土砂崩れ等）

○ 広範囲に多数の土砂崩れ等が発生したことで復旧の長期化が見込まれたため、自治体等とのより密接な連携により早期復旧に向けて取り組みました。

（具体的な取り組み）

- ・自治体との協定に基づく窓口明確化と停電状況の情報共有
- ・土砂等の撤去に係わる自治体等との緊密な連携
- ・重要施設（行政無線、水道設備等）の早期復旧に向けた工程調整
- ・国土交通省中国地方整備局殿、N E X C O西日本殿の協力による通行可能道路の早期把握と高速道路の優先走行

【参考】

（土砂崩れ等による被害箇所）



広島県呉市安浦地区



岡山県高梁市備中地区

(参考) 復旧作業の様子



復旧方法を選定するための現地調査



断線した高圧線を接続する様子



高圧線に倒れた木を伐採



被災した家屋の漏電を調査する様子

6. 情報発信

- 記者会見を計 5 回（内 1 回は社長が会見）報道発表を計 6 8 回実施しました。
また、ホームページ（HP）のトップページに特設コーナーを設置し、計 8 0 回情報発信しました。
- Facebook（FB）も活用し、計 1 2 回記事を投稿しました。

HPで公開した設備被害・復旧作業の状況

復旧作業の様子および設備被害の状況

■ 復旧作業の様子



配電線の絶縁状態を測定する様子（広島県三原市内）

HPの主な発信内容

- ✓ 報道資料
- ✓ 復旧作業の様子および設備被害の状況
- ✓ 被災者へのお知らせ（復旧見込み等）

FBで公開した漏電調査の状況



FBの主な発信内容

- ✓ 当社の設備被害の状況
- ✓ 他電力からの応援の様子
- ✓ 当社の復旧作業の様子
- ✓ 被災者へのお知らせ（復旧見込み等）

7. 今回の災害を踏まえた課題と対応策

- 豪雨災害という特殊性も踏まえ、送配電カンパニー長を委員長とする社内検証委員会を立上げ、主に次の項目について必要な見直しを検討し、対応策を確実に実施することで安定供給に向けた体制強化に努めてまいります。

(具体的な検討項目)

- ・被害状況や復旧に係わる正確かつ迅速な情報収集
- ・土砂等の障害物撤去に係わる自治体等との一層の連携強化
- ・ホームページやSNS等を活用したより積極的な情報発信
- ・復旧対応の長期化に備えた支援体制の強化
 - 電源車の燃料調達・補給体制の早期確立
 - 水・食料等の安定確保 等
- ・地域特性に応じた設備への対策